

# 船橋市『地域公共交通計画』について

## 今年度の取り組みの報告 (R2年度)

八千代エンジニアリング (株)



### 今回のご説明は・・・

- 船橋市の地域・公共交通の現状  
(昨年度のふり返り)
- 今年度行った補足的な調査等のご報告
- 船橋市の公共交通が目指す姿と方針について
- 今後考えられる取り組みについて
- 計画策定に向けて



# ● 船橋市の地域・公共交通の現状

## (昨年度のふり返り)

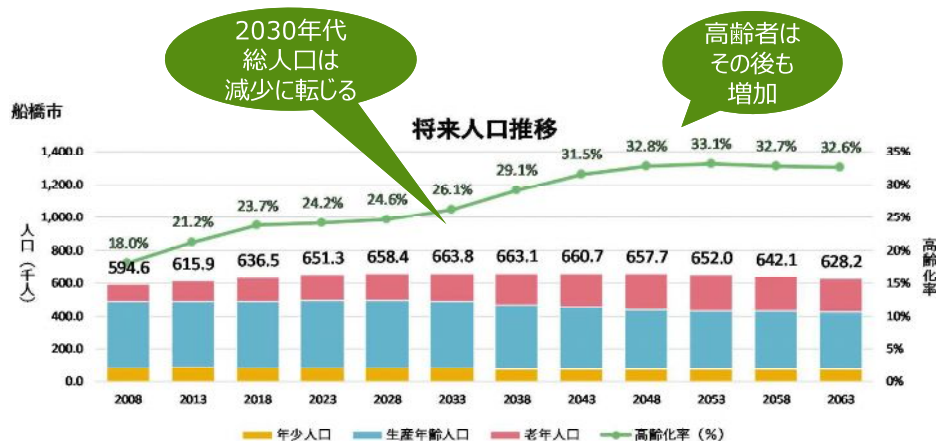
### ■ 船橋市の地域・公共交通の現状

#### 主な現状・問題等

#### 地域の概況

- 近い将来、**総人口は減少に転じるが、高齢者は増加。**

⇒人口の総数が減るなか、公共交通の役割は、ますます重要に。



- 人口は、**西・南・東部に集中し、北・中部は広く分布** (将来さらに進む)。

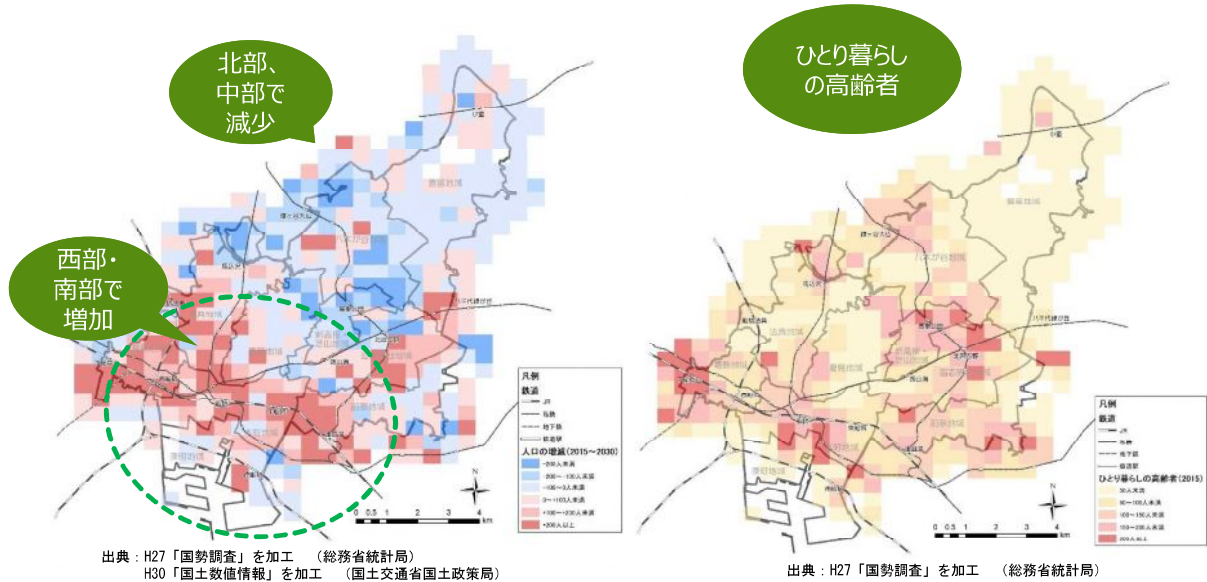
- **高齢者だけの世帯や一人暮らしも、広く分布。**

⇒広く点在するため、鉄道や大型バス等だけの対応は難しくなる。

# ■ 船橋市の地域・公共交通の現状

## 主な現状・問題等

- 人口は、西・南・東部に集中し、北・中部は広く分布（将来さらに進む）。
- 高齢者だけの世帯や一人暮らしも、広く分布。  
⇒ 広く点在するため、鉄道や大型バス等だけの対応は難しくなる。



2015人口⇒2030年見込み（増減）

⇒ 移動手段が必要な高齢者は、市内各地に。

# ■ 船橋市の地域・公共交通の現状

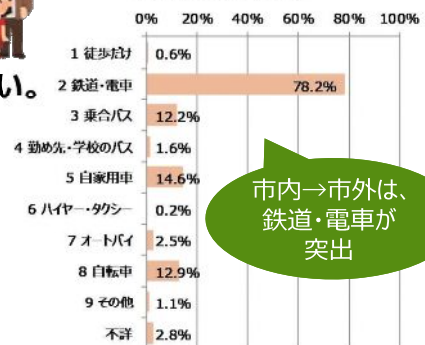
## 主な現状・問題等

### 市民・来訪者の実態・意識

- 外出先は、通勤等は東京方面、買い物等は市内が多い。
- 市外へは主に鉄道。  
市内では、クルマ、自転車、鉄道が多く、バス利用は少ない。
- 70歳以上でも1/3以上が運転免許保有。  
⇒ 過度なクルマ利用の見直しも必要。

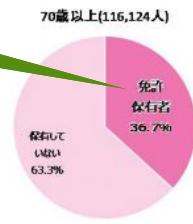


他市区町村で従業・通学



市内→市外は、鉄道・電車が突出

70歳以上で3割以上

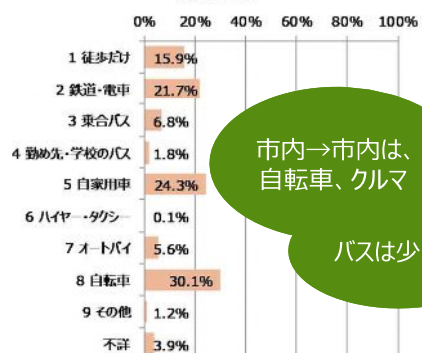


出典：「船橋警察署・船橋東警察署資料」



出典：H30「東京都市圏パーソントリップ調査」を加工（東京都市圏交通計画協議会）

自市に常住



市内→市内は、自転車、クルマ

バスは少ない

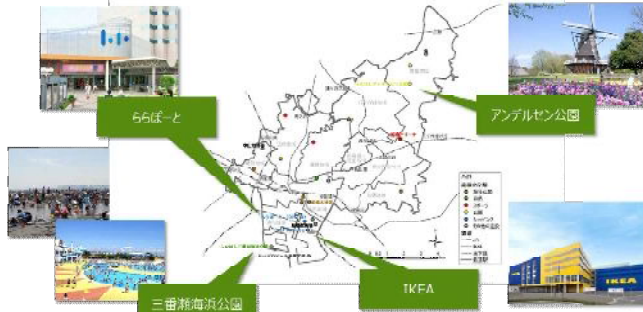
出典：H27「国勢調査」を加工（総務省統計局）

## ■ 船橋市の地域・公共交通の現状

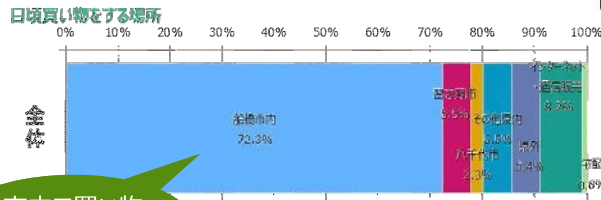
### 主な現状・問題等

#### 市民・来訪者の実態・意識

- 大規模店舗や集客施設へ、市内外からは、多くの人が来訪。市民も市内で買い物。
- 市外からの手段は、電車、クルマが大半。



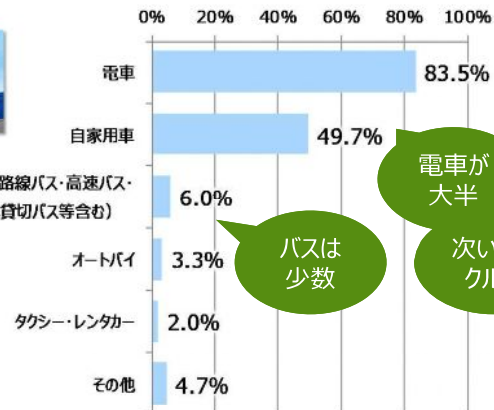
出典：H26「国土数値情報」を加工（国土交通省国土政策局）  
船橋市観光協会HP（一般社団法人船橋市観光協会）



市内で買い物する人が大半

出典：「船橋市商工業戦略プラン」基礎調査報告書  
平成27年3月（船橋市）

#### 交通手段



電車が大半

バスは少数

次いで、クルマ

出典：「船橋市商工業戦略プラン」基礎調査報告書  
平成27年3月（船橋市）

## ■ 船橋市の地域・公共交通の現状

### 主な現状・問題等

#### 本市のまちづくりの考え方等

- 公共交通や人の移動に関する基本的な考え方は、  
(最上位計画である総合計画の考え方・方針より)

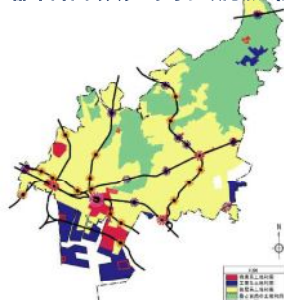
「公共交通の確保・活性化」、  
「過度なクルマ依存の見直し」

- それを受け、各分野の視点・計画等で、総じて求められることは、

- ・公共交通の利便性向上、将来にわたる持続
- ・拠点をつなぐネットワーク、不便地区の移動支援
- ・歩く＋公共交通による外出の促進
- ・中心部やバイエリアの観光、回遊性の向上への寄与

\*新しい総合計画、  
立地適正化計画を、  
現在策定中です。

都市計画マスタープラン改訂版（H24）



立地適正化計画（策定中）



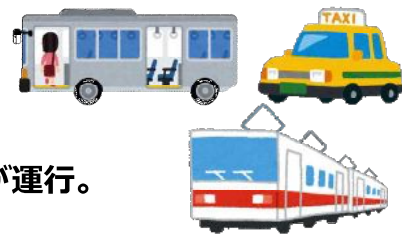


# ■ 船橋市の地域・公共交通の現状

## 主な現状・問題等

### 公共交通の状況

- 鉄道・路線バス・タクシー等があり、多数の事業者が運行。  
(本市の公共交通は、総じて**充実**)
- ただし、各方面を運行しているが、市全域の**細部**までは**カバー**しきれない。
- タクシーの営業所は、市南側に多い傾向。



出典：「国土数値情報」を加工 (国土交通省国土政策局)



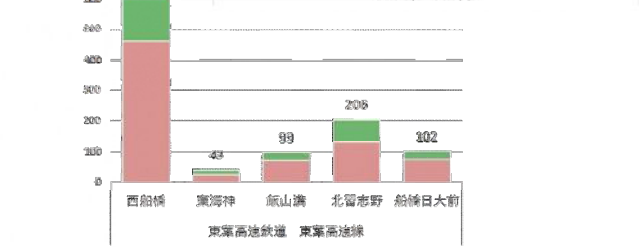
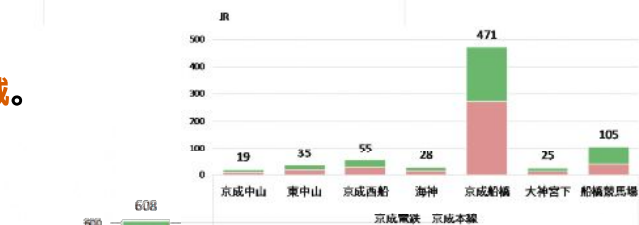
出典：H27「国勢調査」を加工 (総務省統計局)  
「国土数値情報」を加工 (国土交通省国土政策局)

# ■ 船橋市の地域・公共交通の現状

## 主な現状・問題等

### 公共交通の状況

- 利用客、運行本数とも、おおむね**主要駅に集中**。  
**ラッシュ時には、車内が混雑**(鉄道、バスとも)。
- 鉄道の利用客は**微増傾向**。  
路線バスの利用客は**横ばいか微減**。



出典：「交通統計」 平成31年3月 (船橋市)



出典：「交通統計」 平成31年3月 (船橋市)

- 鉄道の利用客は**微増傾向**。  
路線バスの利用客は**横ばいか微減**。

# ■ 船橋市の地域・公共交通の現状

## 主な現状・問題等

### 本市のまちづくりの考え方等

- 公共交通や人の移動に関する**基本的な考え方は**、  
(最上位計画である**総合計画**の考え方・方針より)

「公共交通の確保・活性化」、  
「過度なクルマ依存の見直し」

- それを受け、**各分野**の視点・計画等で、**総じて求められることは**、
  - ・公共交通の利便性向上、将来にわたる持続
  - ・拠点を結ぶネットワーク、不便地区の移動支援
  - ・歩く＋公共交通による外出の促進
  - ・中心部やベイエリアの観光、回遊性の向上への寄与

\*新しい**総合計画**、  
**立地適正化計画**を、  
現在策定中です。

「**船橋市地域公共交通総合連携計画**」の経過について

- **公共交通不便地区**の解消事業（バス路線）により、17地区中**3地区解消**。乗合タクシー（デマンド）型の実証実験を行ったが、利用者が目標を下回ったため本格導入なし。
- **バスガイドマップ**を作成・配布したが、ガイドマップふなばしと重複したため継続なし。その他のMM施策は未実施。
- **バスロケ**、**バス接近情報システム**を一部路線に導入。

# ■ 船橋市の地域・公共交通の現状

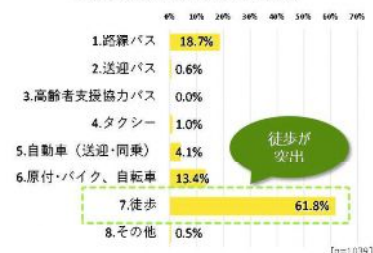
## 種々の調査の結果

### 市民・交通利用者へのアンケート

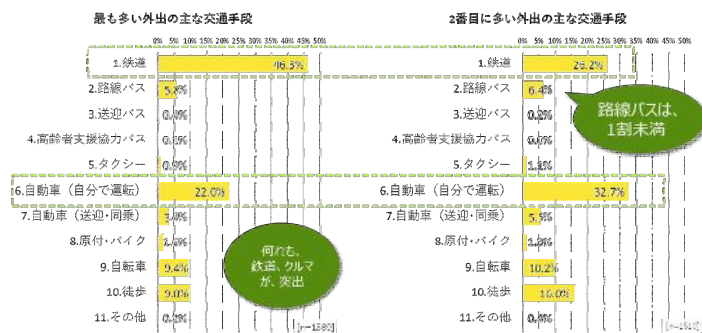
- 主な外出は、**通勤・通学、買物、通院**が大半。
- 主な交通手段は、**鉄道、クルマ**が突出。**バス、タクシー**は少数。  
**駅への交通手段は、徒歩**が突出、**バス**も一定の利用。  
**鉄道は、趣味・遊び**での利用も多い。
- **鉄道は、駅が近い・早く行ける・時間に正確**との利用理由が多いのに対し、**バスは、バス停が近い**ため利用する人が突出。  
**クルマが便利**との理由で、**鉄道・バス**を利用しない人が多い。



最も多い外出の交通手段（自宅→駅）



バスを利用しない人の理由 [n=1039]



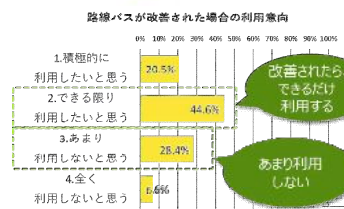
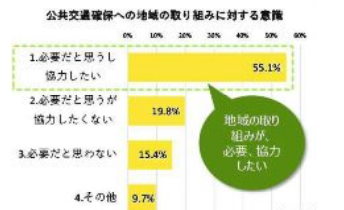
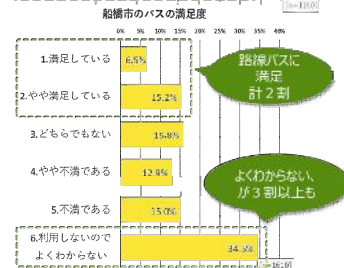
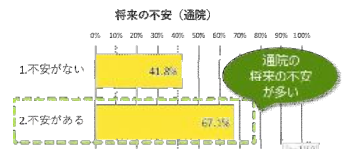
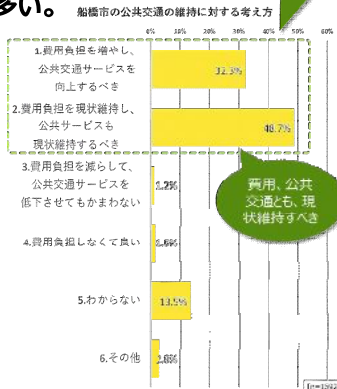
出典：「市民アンケート」 令和元年12月（船橋市）

# ■ 船橋市の地域・公共交通の現状

## 種々の調査の結果

### 市民・交通利用客へのアンケート

- 「通院」について、不満、将来が不安な市民が比較的多い。
- 一方、最寄りバスについて、満足かどうか「利用しないのでよくわからない」という市民が多い。
- 「現状を維持」「公共交通サービスを向上」「公共交通確保の取組みが必要、協力する」との意向の市民が多い。
- 改善希望として「わかりやすさ」が特に多く、その他で「待合施設」「遅延」「運行本数」「乗り継ぎ」への希望が多い。
- ただし、改善後も「できるかぎり利用」「あまり利用しない」という意識。



出典：「市民アンケート」 令和元年12月（船橋市）

# ■ 船橋市の地域・公共交通の現状

## 種々の調査の結果

### 駅・ターミナルの現地状況

- 主要な駅には、ターミナル、待ち時間を過ごす店舗等があり、まちの賑わいもある。（ただし一部、十分ではない点もある）
- 不慣れた高齢者、来訪客等にとって、わかりにくい（不案内な）面がある。

#### ■（例1：駅構内で）

乗りたいバスは、駅のどちら側に出ればよいか迷う。



#### ■（例2：バスターミナルで）

たくさん乗り場があり、乗るべきバスが何番のバス乗り場なのか迷う。





## ■ 船橋市の地域・公共交通の現状

### 種々の調査の結果

#### 駅・ターミナルの現地状況

- (例3 : バスターミナルで)  
乗りたいバスの、乗り場がどこにあるかわからない。



- (例4 : バスターミナルで)  
行きたい場所へ、どのバス会社に乗れば(聞けば)よいか知らない。



- (例5 : 駅構内で)  
乗り継ぐ先の別の駅がどこにあるか、どれくらい離れているかわからない。



15

## ■ 船橋市の地域・公共交通の現状

### 今後に向けた本市の公共交通の課題

- 本市の公共交通は、過度なクルマ利用からの脱却に寄与するとともに、将来まで持続し、いっそう充実することによって、多くの人に利用される公共交通を目指すことが必要であり、今後、以下が課題になります。

課題1 将来にわたり、公共交通ネットワークの運営・運行を確保・維持する必要がある。

課題2 公共交通不便地域等の移動手段を継続的に検討する必要がある。

課題3 市民等にとってより便利な公共交通を目指すとともに、よりいっそうの利用促進を図る必要がある。

課題4 集客、回遊性向上などを通じて、市のまちづくりに寄与する

16



## ●今年度行った補足的な調査等のご報告

17

### ■今年度行った補足的な調査等のご報告

#### 情報・案内等に関するアンケート

#### (アンケート実施概要)

- 主要駅周辺**の対象に、**お客様目線**での公共交通の情報案内の**わかりやすさ**に対する意見、公共交通利用の**動機付け**に関する着眼点を得るため、アンケートを行いました。

- ・調査方法：駅周辺の来訪者に対してインタビュー形式で直接配布・回収
- ・配布数・回収数：129票
- ・調査箇所：船橋駅北口バスターミナル、JR船橋駅コンコース付近、船橋北口駐車場付近（イトーヨーカ堂地下1階）
- ・実施時期：2020/12/12（土）



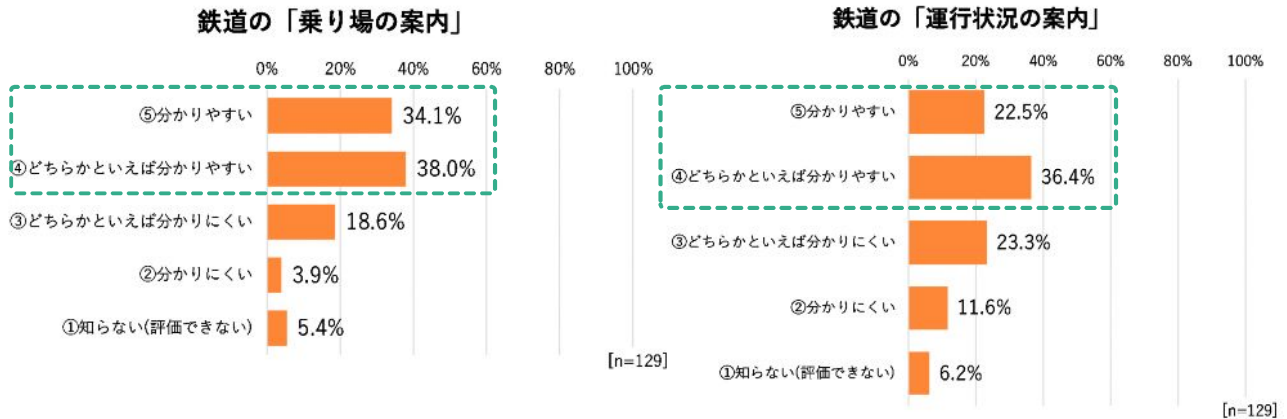
18

## ■今年度行った補足的な調査等のご報告

### (アンケート結果)

#### 案内のわかりやすさについて (鉄道)

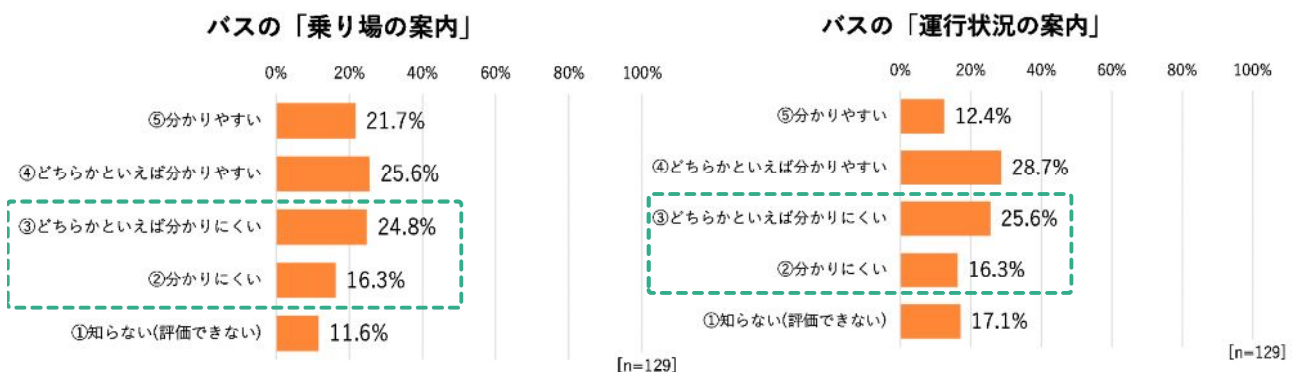
- 鉄道の「乗り場の案内」について、約72%はわかりやすいと回答。また、鉄道の「運行情報の案内」について、約59%はわかりやすいと回答。



## ■今年度行った補足的な調査等のご報告

### 案内のわかりやすさについて (バス)

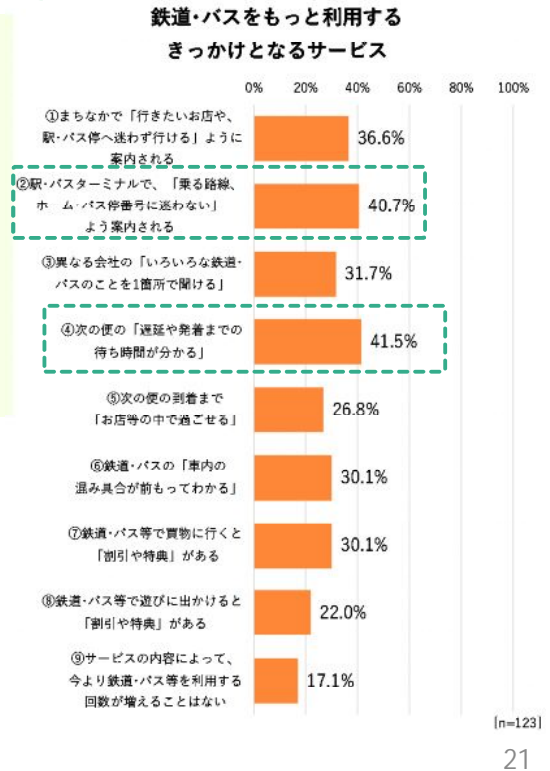
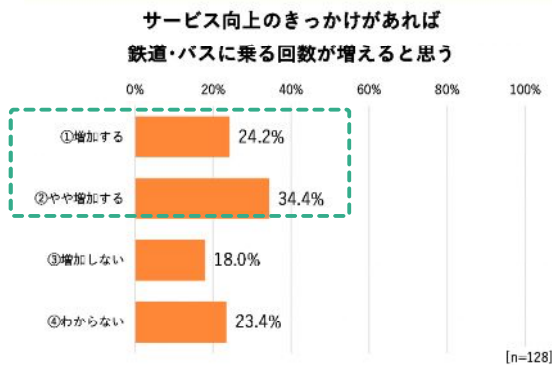
- バスの「乗り場の案内」について、約47%はわかりやすいと回答している一方、約41%はわかりにくいと回答。また、バスの「運行情報の案内」について、約41%はわかりやすいと回答した一方、約42%はわかりにくいと回答。
- 鉄道の案内情報に比べ、バスの案内情報はわかりにくいと感じられている。(特にバスの「運行状況の案内」がわかりにくい状況)



## ■今年度行った補足的な調査等のご報告

### 公共交通の利用頻度が増えるきっかけについて

- 鉄道・バスの乗る回数について、公共交通のサービスが向上すれば、利用頻度が増加すると回答した方は約59%で、**きっかけがあれば、潜在需要を掘り起こせる可能性**
- 鉄道・バスをもっと利用するきっかけとなるサービスについて、「**次の便の遅延や発着までの待ち時間が分かる**」と回答している方が約42%と最も多く、次いで約41%が「**駅・バスターミナルで、乗る路線、ホーム・バス停番号に迷わないよう案内される**」と回答。



## ■今年度行った補足的な調査等のご報告

### 公共交通不便地域に関するアンケート

#### (アンケート実施概要)

- 公共交通不便地域の1つである坪井地区を**モデル的に**対象とし、移動支援事業としての新規路線導入に対する**地域住民の意見**を把握するため、アンケートを行いました。

- ・調査方法：無作為でアンケート票配布・郵送回収
- ・配布数：480票（1世帯に2票 計240世帯に配布）
- ・回収数：249票（137世帯）
- ・調査箇所：坪井地区
- ・実施時期：2020/12/15（火）～2021/1/22（金）

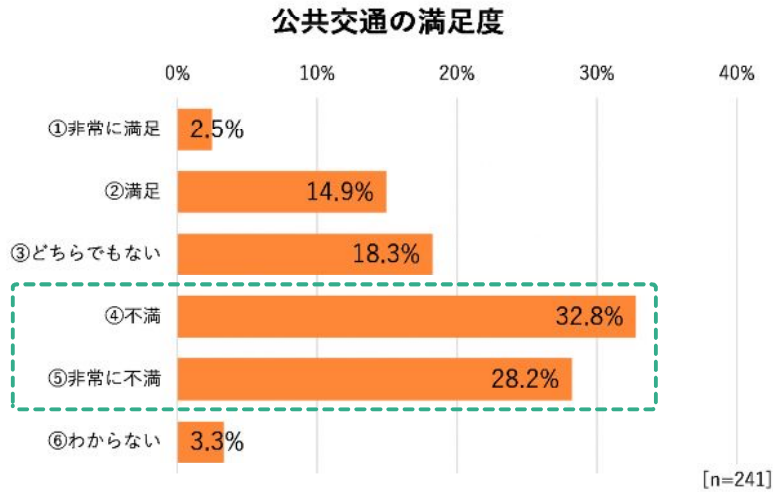


## ■今年度行った補足的な調査等のご報告

### (アンケート結果)

#### 地区周辺における公共交通の満足度について

- 公共交通不便地域の1つである坪井地区の公共交通について、約61%の方が公共交通に対して不満。

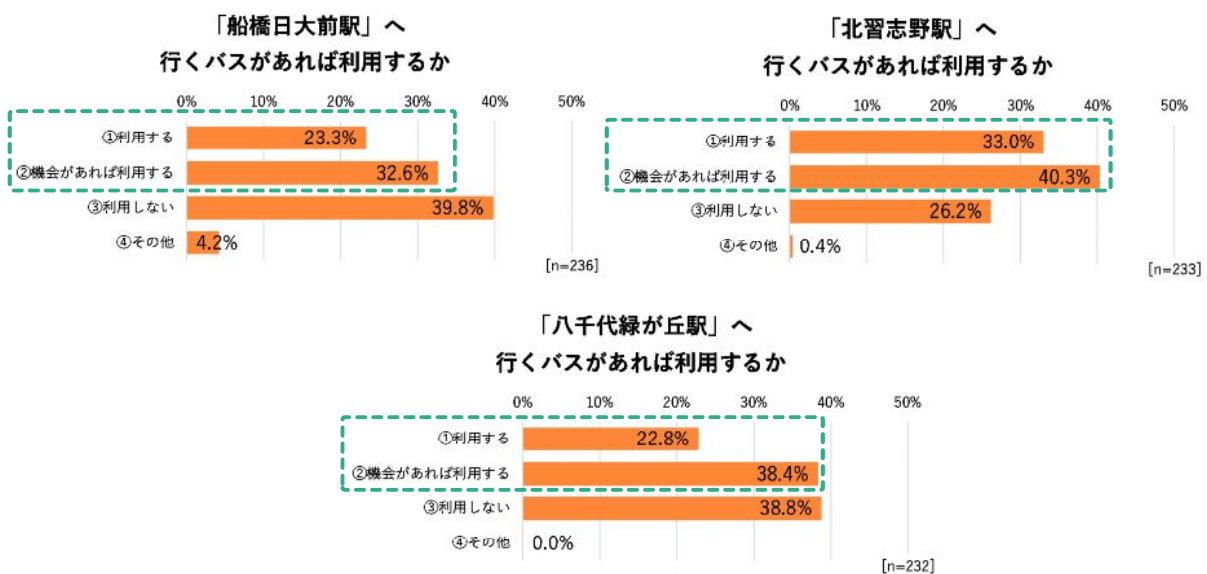


23

## ■今年度行った補足的な調査等のご報告

### バス路線新設による利用意向について

- 「船橋日大前駅」へ行くバスがあれば利用するとの回答は約56%、「北習志野駅」へ行くバスがあれば利用するとの回答は約73%、「八千代緑が丘駅」へ行くバスがあれば利用するとの回答は約61%で、公共交通を望む意向が大きい。



24



## ■今年度行った補足的な調査等のご報告

### 企業送迎バスに関する調査について

#### 調査実施概要

- 企業送迎バスの活用を将来的に見据え、船橋市南部の**企業送迎バスの運行実態**を把握するため、**現地における調査**を行いました。

- ・調査方法：発着する企業送迎バスの企業及び委託先の運行事業者を目視で把握
- ・調査箇所：西船橋駅南口周辺
- ・実施時期：2020/12/15（火）12:00～19:00

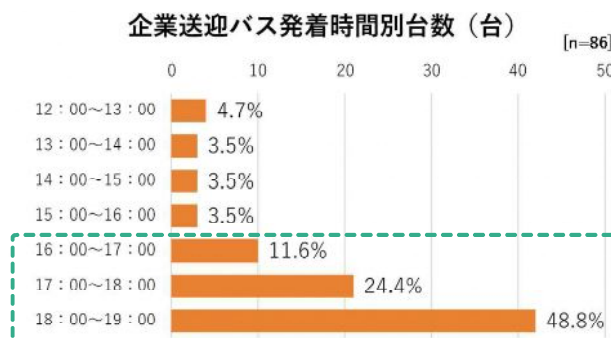


25

## ■今年度行った補足的な調査等のご報告

### 西船橋駅南口付近の企業送迎バス発着実態について

- 調査時間帯内において、西船橋駅南口付近を発着する企業送迎バスは計86台。
- 時間帯別の発着台数に着目すると、夕方の16:00～17:00が10台、17:00～18:00が21台、18:00～19:00が調査時間帯の発着台数の約50%の42台。
- 本調査では、企業送迎バスを運行する企業名を記録しました。今後、高齢者支援事業等の**送迎バス活用の可能性を検討する際の基礎資料**となります。



26

## ■今年度行った補足的な調査等のご報告

### 関係者へのヒアリング及びアンケート等

○昨年度から継続的に、**公共交通事業者**の運行実態や利用状況等の現状や問題、課題、また、取り組みメニューに対する意見を把握するため、ヒアリング調査及びアンケートを実施しました。また、**集客・観光関係者**の来訪者の来訪状況や施設が感じる問題、課題、また、取り組みメニューに対する意見を把握するため、ヒアリングやアンケートを行いました。

### 運行事業者の状況等について

- バス、タクシーは、**乗務員不足が深刻**。⇒持続的運営の大きな問題
- 収支面で厳しい路線**がある。(減便を検討することも)
- 今後**、人口減少・高齢化により、**利用客減少の危惧**がある。
- ラッシュアワー**等には車内が混雑。
- バスの運行面で**最大の問題**は、**渋滞による遅延**。⇒利用客のクレーム・**バス離れ**、乗務員の**負荷**
- 多くの鉄道・バス会社、システムがあり、高齢者や、来訪者に**わかりにくい**。(特に**主要ターミナル**)
- タクシーへは、乗車環境のほか、**予約してもなかなか来ない**との声もある。
- 公共交通**全体**に関する**PR**、**市民等の意識を変える啓発等**が必要。
- 現状では、バス・鉄道・タクシーとも、お客様**サービス**や**取り組み**の多くは**各社個別**。
- タクシー車両を減車している



## ■関係者からの情報収集

### 運行事業者の取り組み等

(一部実地中、予定や今後検討するものも含まれます)

- バスの休憩所を新設し、**路線を調整**。
- 今後の利用状況によっては、**減便等の調整**。
- バスロケ利用**の周知・普及の工夫
- バス停等での**多言語対応**。
- バス利用促進策として、地元への**説明の機会**や**関心を持っていただく機会**。
- 乗務員乗継や**待機所設置**による**回送削減**。
- 渋滞**遅延の大きい路線**の、折り返し地点での**待機時間**、**所要時間見直し等**での調整。  
複数のシステムを調整し、**時間間隔を調整**。
- 集客施設とコラボ**し、買い物客へのバス乗車券等の特典付与など。
- webやバス停で**運行情報**を表示するシステムや**案内ディスプレイ**等。
- ダイヤによる運行時分の確保、長距離便の短縮化、短距離便増発による定時制の向上。
- 主要ターミナル**の**案内サイン**類の充実。
- 運転士からの生の声**をヒアリングする機会
- 運行システムの簡素化・集約化による複雑化の回避
- 便の**行先名をわかりやすく**する



## 関係者からの情報収集

- 乗り継ぎなど、便利な**運賃の仕組み**
- GTFS-JP等の**オープンデータ整備**
- バス路線と**商業施設等**をセットで情報提供
- **集客施設**の入園券等とセットの**企画乗車券等**
- 鉄道利用客に対して駐車場割引等による**パーク&ライド**
- **オフピーク通勤**を推進するキャンペーン
- **MaaSアプリ**の活用
- 広報誌などによるPR
- タクシーの電子決済、**配車アプリ**、**言語翻訳アプリ**の導入
- ユニバーサルデザインタクシー、ユニバーサルタクシードライバーの育成
- **タクデリ**等の試行等



オフピーク通勤推進キャンペーン（東京地下鉄HP）

## 関係者からの情報収集

### コロナ禍による運行事業者への影響等

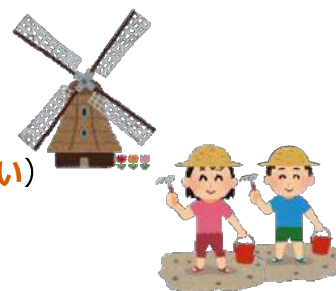
- コロナ禍により、鉄道・バス会社では**営業利益が激減**。
- **利用者が減少**する中、公共交通サービスを維持するために一般路線は**減便をせず**に運行。
- **深夜急行バスや空港連絡バス等**は、**運休・減便が発生**している。
- 鉄道会社の早朝・深夜帯のダイヤ改正に対応し、一部バス会社は**ダイヤ改正**を予定。
- 交通事業者では、様々な**感染症感染予防対策**に取り組み。
- 新型コロナウイルスが沈静化した場合においても、新しい働き方改革等の定着があり、利用者はコロナ禍以前に戻ることは難しいと考えており、**減便等を検討する可能性**がある。コロナ後の需要変化に的確に対応するため、**市と連携強化**をしていきたい。
- 外出自粛要請と飲食店の営業制限で著しく需要が減少。乗務員を休業させながら大幅な稼働数の調整中。



## ■ 関係者からの情報収集

### 集客施設・観光関係者の状況等

- 市外からは、**鉄道、マイカー**での来訪が多い。  
**マイカー**が多いことで、**駐車場不足、周辺混雑**等の問題。
- 現状は、市内の**1箇所のみを訪れる**来訪客が多い。**(回遊しない)**
- 来訪客は、**駅の混雑、駅等のわかりにくさ、渋滞**等に不満。



### コロナ禍による集客施設・観光関係者への影響等

- **店舗、観光・集客施設**もコロナ禍で**集客数が減少**。
- 一部**無料お買い物バス**が**運休**。



31

## ● 船橋市の公共交通が目指す姿と方針

32



# ■ 船橋市の公共交通が目指す姿と方針について

## 基本目標と方針

### 基本目標（船橋の公共交通がめざす姿）

- まちづくり、過度なクルマ利用からの脱却に寄与するとともに、将来まで持続し、多くの人に利用される公共交通をめざす。

### 方針（めざす姿の実現に向けて取り組むべき事項・課題）

#### ■ 1 将来にわたる公共交通ネットワークの維持・充実

・「広域移動」、「市内地域間移動」、「地域内移動」、「回遊等」を支え、まちづくりを見据えた公共交通ネットワークを、将来にわたって確保・維持します。また持続的な運営・運行を目指す上での問題を解決していきます。

#### ■ 2 公共交通不便地域等への移動支援

・公共交通不便地区への移動支援策について検討することが必要です。そのため、現状に見合う種々の方策について、地域で支えることも含め、市民とともに考え取り組んでいきます。

#### ■ 3 ターミナル・拠点等の利便性向上と市民等の利用促進

・複数の事業者が各社個別の対応を行っている現状を踏まえ、種々の技術も活かした利用しやすい公共交通の実現、クルマ依存が高い市民の現状を踏まえた利用促進を図っていきます。

#### ■ 4 集客、回遊性向上など、まちづくりへの寄与

・主要駅周辺エリアや、今後、賑わいの創出を目指すエリアなど、まちづくりの考え方を踏まえ、集客、回遊性の向上など、公共交通として寄与できる事項に取り組んでいきます。

33

# ■ 船橋市の公共交通が目指す姿と方針について

## 今後の取り組みの方向性（取り組みのねらい等）

### ■ 1 将来にわたる公共交通ネットワークの維持・充実

➡ 路線・運行のロスや負荷につながる要素を改善する

考えられる取り組みの方向性(例)

- 例えば…
- ・効率のよくない運行による負荷を減らすことを考える
  - ・渋滞での遅延による負荷を減らす方法を考える
  - ・路線の継続・見直しを判断する仕組みを考える
  - ・各事業者が連携・協力する仕組みをつくる
  - ・継続的に支援を検討する
  - ・コロナ禍の対応を考える 等

### ■ 2 公共交通不便地域等への移動支援

➡ 不便地区に対する公共交通サービスを継続的に検討する

考えられる取り組みの方向性(例)

- 例えば…
- ・バス等によって移動を支援することを考える
  - ・人口が少なく広く分布する地区の方策を考える
  - ・大型車の運行が困難な地区の方策を考える 等

### ■ 3 ターミナル・拠点等の利便性向上と市民等の利用促進

➡ 駅へのアクセスや乗り継ぎ等の利便性を向上する主要ターミナル等のわかりにくさによる抵抗感を軽減、遅延や運休等による利用客離れを防ぐ市民等のクルマ依存（意識・ライフスタイル）を少しずつ変える

考えられる取り組みの方向性(例)

- 例えば…
- ・“わかりにくい事象”自体を改善できるかどうかを考える
  - ・情報・案内でフォローする（若年向け、高齢向け）
  - ・駅前へのバスの発着、鉄道との乗り継ぎを容易にする
  - ・遅延を待つ苦痛を緩和する、待ち時間を充実することでフォローする
  - ・大幅遅延や運休時の連携を考える
  - ・各交通事業者や関係者が連携した、PR活動・企画等市民が自ら考える機会を提供する 等

### ■ 4 集客、回遊性向上など、まちづくりへの寄与

➡ 回遊性を向上する公共交通サービスを提供する  
来訪客へのPR・案内を充実する  
継続的にニーズや情報を把握し取り組みを定期的に見直す

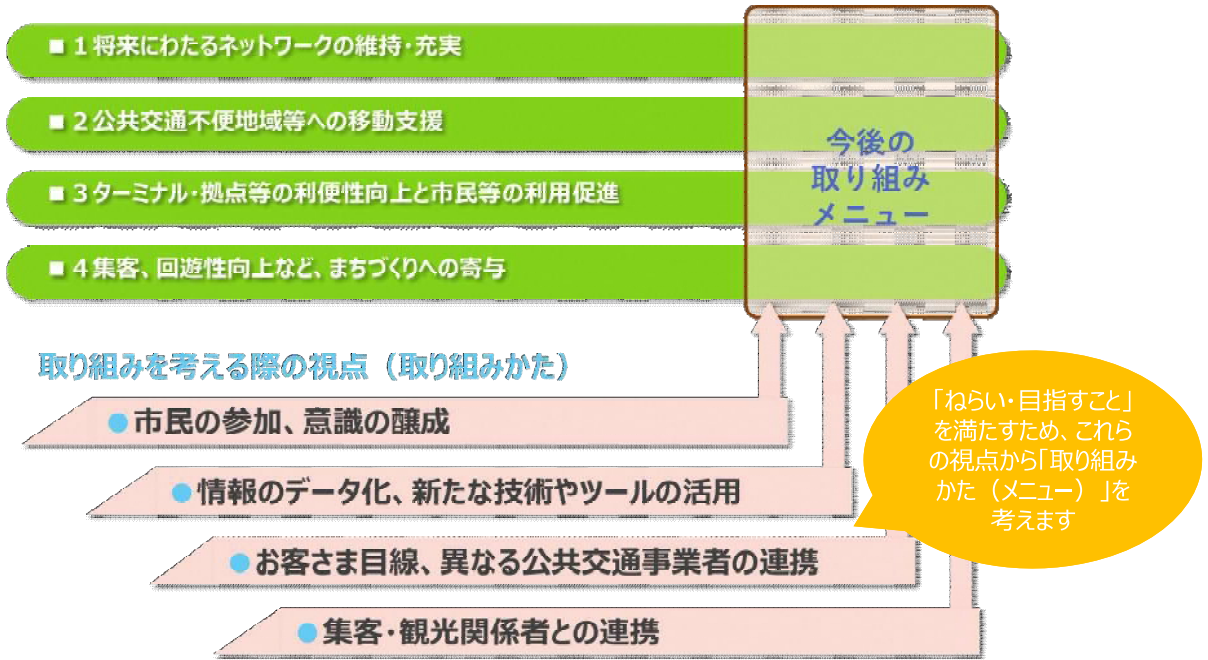
考えられる取り組みの方向性(例)

- 例えば…
- ・回遊する公共交通手段を提供する
  - ・回遊するための複数の公共交通を使いやすくする
  - ・公共交通や観光・集客施設が連携したPR・企画を考える
  - ・来訪者への総合的な案内を行う
  - ・市民や来訪者のニーズ等を継続的に把握する、商業・集客・観光の関係者と情報交換する 等

34

# ■ 船橋市の公共交通が目指す姿と方針について

## 取り組みを考える上での視点（取り組みのしかた等）



# ■ 船橋市の公共交通が目指す姿と方針について

## 船橋市の将来の公共交通ネットワーク

- 現在の公共交通ネットワークの構成を、将来まで持続（維持）します。
- 公共交通不便地区に対する交通サービスを、実証運行を踏まえながら順次導入します。
- 主要ターミナルや駅前等の案内・利便性の充実だけでなく、市民等の利用促進に取り組みます。
- 集客エリアの回遊性を向上する方策に、試行・実証運行を踏まえながら取り組みます。

軸	交通機関	具体路線	考え方
広域移動 (主に都市間)	● 東西方向の鉄道 ※資料2	JR 総武線 JR 京成線 京成本線 京成東武鉄道 東京メトロ東西線	<b>鉄道（東西方向の基幹軸）</b> ●本市は東京方面を主たる通勤軸として、バスの役割の補完と連携した利用促進、接続的サービス等の取り組み。（快適性向上、車内設備の改善等）
広域・地域間移動 (主に都市間・地域間)	● 南北方向の鉄道	JR 武蔵野線 海老原田線 新京成電鉄	<b>鉄道（南北方向の基幹軸）</b> ●近隣自治体及び市内地域間をつなぐ中心軸として、バスの取組と連携した利用促進、接続的サービス等の取り組み。（快適性向上、車内設備の改善等）
地域内移動	● 路線バス (南北方向の中心軸)	総武新成東バス 等 (船橋駅～小室駅)	<b>路線バス（南北方向の中心軸）</b> ●市内地域間をつなぐ中心軸として、将来まで確保。乗客のバス路線が重なる線区あり。分岐の少ない、路線の強化、運賃によるバス路線（低額低運賃）の開設、乗り換えサービス向上、案内充実等による利用促進の取り組み。
地域内移動	● 路線バス	民間路線バス	<b>路線バス（各拠点へのアクセス手段）</b> ●各地域の日常生活の移動手段として、将来まで確保・利用促進。 ●新駅開業、都市圏道路開通に伴う新駅開業の導入等。
地域内移動	● 公共交通不便地区への移動支援（支援事業路線、巡回バスの活用等）によって補完	丸山線 八木が台線 日暮野線 高崎寄移動支援バス	<b>公共交通不便地区への移動支援</b> ●不便地区への確保の支援方策として、「実証運行」、市民主体で考える機会を設けながら順次検討。
特定のエリア内の回遊	● シャトル便、グリーンズローモビリティなど新たな回遊手段	—	<b>特定エリアの回遊手段</b> ●未就労の状況下、実証運行を踏まえながら、新たな公共交通の導入の取組等を検討。
臨海部工業地へのアクセス	● 企業送迎バス等	—	<b>公共交通不便地区への移動支援（再掲）</b> ●不便地区への確保の支援方策として、「実証運行」、市民主体で考える機会を設けながら順次検討。

# ■ 船橋市の公共交通が目指す姿と方針について

## 船橋市の将来の公共交通ネットワーク

現在の公共交通ネットワーク



将来の公共交通ネットワーク



種別	交通手段	交付詳細	考え方
中心商業地 (駅前広場)	● 東西方向の線路 ● 支線あり	JR 常磐線 JR 東武線 JR 東上線 東武東上線 東武東横線 東武東横線 東武東横線 東武東横線	● 駅周辺 ● 駅前広場 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備
広域・近郊圏移動 (バス・タクシー・徒歩)	● 南北方向の線路 ● 環状バス ● 南北方向の中心線	JR 常磐線 JR 東武線 JR 東上線 東武東上線 東武東横線 東武東横線 東武東横線 東武東横線	● 駅周辺 ● 駅前広場 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備
地域内移動	● 環状バス ● 公共交通不便地域への移動支援 (乗車券補助、乗車券の活用等) など	東武東上線 東武東横線 東武東横線 東武東横線 東武東横線 東武東横線 東武東横線 東武東横線	● 駅周辺 ● 駅前広場 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備
郊外のエリア間の移動	● サトウパトロール、グリーンロード、リサイクルバスなど	東武東上線 東武東横線 東武東横線 東武東横線 東武東横線 東武東横線 東武東横線 東武東横線	● 駅周辺 ● 駅前広場 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備
臨海部工業地帯へのアクセス	● 支線あり	東武東上線 東武東横線 東武東横線 東武東横線 東武東横線 東武東横線 東武東横線 東武東横線	● 駅周辺 ● 駅前広場 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備 ● 駅前広場の整備

出典：「交通統計」平成31年3月（船橋市）  
 「国土数値情報」を加工（国土交通省国土政策局）  
 H27「国勢調査」を加工（総務省統計局）



## ● 今後の取り組み施策について

## ■今後の取り組みについて

### 取り組み施策の体系

#### ■ 1 将来にわたる公共交通ネットワークの維持・充実

- 取り組み 1-1 バス運行に関わる負担軽減の取り組み
- 取り組み 1-2 公共交通事業者間の連携強化の取り組み
- 取り組み 1-3 新型コロナ禍の行動スタイルへの対応の取り組み

#### ■ 2 公共交通不便地域等への移動支援

- 取り組み 2-1 公共交通不便地区の移動サービスに関する継続的な取り組み

#### ■ 3 ターミナル・拠点等の利便性向上と市民等の利用促進

- 取り組み 3-1 主要ターミナル等のわかりやすさ・機能充実の取り組み
- 取り組み 3-2 地区拠点等のアクセス・乗り継ぎ等の利便性向上の取り組み
- 取り組み 3-3 遅延・運休等による公共交通利用への抵抗感軽減の取り組み
- 取り組み 3-4 クルマ依存の見直し・公共交通利用に関する意識の醸成に向けた取り組み

#### ■ 4 集客、回遊性向上など、まちづくりへの寄与

- 取り組み 4-1 まちの回遊性を促す公共交通サービス提供の取り組み
- 取り組み 4-2 人の往来・賑わい、来訪客へのPR案内の充実等の取り組み
- 取り組み 4-3 利用者・市民・来訪客等の意見・動向の定期的な把握の取り組み

39

## ■今後の取り組みについて

### 各取り組みの概要

以降に、個々の取り組み（事業）について示します。なお、各事業における個々の施策メニューについては、本計画以降の検討状況に応じて、取捨選択や具体的な実施計画に取り組んでいきます。

#### ■ 1 将来にわたる公共交通ネットワークの維持・充実

- 取り組み 1-1 バス運行に関わる負担軽減の取り組み
- 取り組み 1-2 公共交通事業者間の連携強化の取り組み
- 取り組み 1-3 新型コロナ禍の行動スタイルへの対応の取り組み



40



## ■ 1 将来にわたる公共交通の運営・運行

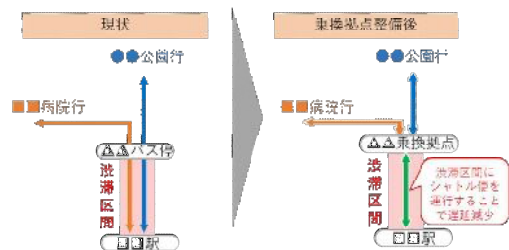
<考えられるメニューのイメージ> 今後、意見交換等をふまえながら、取舍選択・調整を行っていきます。

### ■ 取り組み 1 - 1 バス運行に関わる負担軽減の取り組み

- 駅前・大規模商業施設に集中するクルマ削減によるバス遅延の緩和。
- バス待機場所の確保による回送ロス削減の可能性検討・調整。
- 異なるバス系統間のダイヤ調整の可能性検討（パターンダイヤ等による便数調整）。
- 乗り換え拠点設定とルート調整・新規運行等によるバス運行のロス軽減。（中期）
- バスの遅延解消に繋がる道路の優先的整備  
と運行ルート見直しの可能性検討。（長期）
- 自動運転車両に関する情報収集と道路機能整備の推進。（長期）



事例：集客施設に公共交通で  
来訪する方へのバスチケットの特典事例  
(三井アウトレットパーク幕張HP)



乗換拠点整備及びルート調整によるバス運行ロス軽減のイメージ

41

## ■ 1 将来にわたる公共交通の運営・運行

<考えられるメニューのイメージ> 今後、意見交換等をふまえながら、取舍選択・調整を行っていきます。

### ■ 取り組み 1 - 2 公共交通事業者間の連携強化の取り組み

- 運行事業者間の調整・共同の取り組みのための「定例会議」の設置。
- バス事業者の運行データ共通化・デジタル化に向けた検討。
- 公共交通の持続的な運営・運行への支援の継続的な検討。（中期）



事例：GTFSを用いた経路情報や運賃情報の  
オープンデータ化の取り組みの例  
(京成トランジットバスHP)



事例：運行情報のオープンデータを活用したアプリの例  
(岐阜県中津川市、出典・ヴァル研究所HP)

42

## ■ 1 将来にわたる公共交通の運営・運行

<考えられるメニューのイメージ> 今後、意見交換等をふまえながら、取捨選択・調整を行っていきます。

### ■ 取り組み 1 - 3 新型コロナ禍の行動スタイルへの対応の取り組み

- 新型コロナ禍における公共交通利用のPR等（共同の取り組み）。
- 社会的要請や行動変化に応じたダイヤの調整等。
- 鉄道・バスの車内混雑緩和の継続的な取り組み。（中長期）
- タクシー等の車両によるフード等宅配サービスの可能性検討。



東西線 OFF PEAK PROJECT 2020.4.1wed - 2021.3.31wed

オフピーク通勤なら、早くても、遅くても、おトクな朝に！  
ピークの前後に改札タッチで、  
PASMOにチャージができる  
メトロのポイント「メトポ」をGETしよう！

事例：オフピーク時利用者にインセンティブを与える取り組み  
(東京地下鉄HP)



事例：タクシー車両によるフード等宅配サービス

43

## ■ 今後の取り組みについて

### ■ 2 公共交通不便地域等への移動支援

取り組み 2 - 1 公共交通不便地区の移動サービスに関する継続的な取り組み



44

## ■ 2 公共交通不便地域等への移動支援

<考えられるメニューのイメージ> 今後、意見交換等をふまえながら、取捨選択・調整を行っていきます。

### ■ 取り組み 2 - 1 公共交通不便地区の移動サービスに関する継続的な取り組み

- 新規路線または移動支援策の実証運行
- 公共交通不便地区への取り組みに関するPR・広報の強化
- 民間送迎サービスの活用による移動支援拡大の可能性検討
- 営業所から遠い地区へのタクシー配車の調整
- 地域主体の送迎サービスの検討（中期）
- バスの進入が困難な地域における既存道路の優先的な整備・拡幅（中長期）



事例：利用案内冊子の発行による  
コミュニティバスのPR  
(松戸市HP)



カーシェアから生まれた  
送迎活動の例（宮城）  
(グループに車両を貸出し、グループは、  
実費を支払い、ドライバーはボランティア、  
利用料はカンパ)

45

## ■ 今後の取り組みについて

### ■ 3 ターミナル・拠点等の利便性向上と市民等の利用促進

- 取り組み3-1 主要ターミナル等のわかりやすさ・機能充実の取り組み
- 取り組み3-2 地区拠点等のアクセス・乗り継ぎ等の利便性向上の取り組み
- 取り組み3-3 遅延・運休等による公共交通利用への抵抗感軽減の取り組み
- 取り組み3-4 クルマ依存の見直し・公共交通利用に関する意識の醸成に向けた取り組み



46

## ■ 3 市民等の利便性向上と利用促進

<考えられるメニューのイメージ> 今後、意見交換等をふまえながら、取舍選択・調整を行っていきます。

### ■ 取り組み 3 - 1 主要ターミナル等の わかりやすさ・機能充実の取り組み

- 主要ターミナル等における運行情報の充実
- 異なる公共交通事業者・施設間相互の利用客への案内の充実
- 主要ターミナルのバス発着場所のわかりやすさの向上
- 主要ターミナルの公共交通から一般車両を分離する方策（中期）
- 主要ターミナルにおけるバス発着機能の拡充（長期）



事例：デジタルサイネージの表示内容  
(両備システムズHP)



事例：主要バス路線の方面別カラー化及びアルファベット化  
(八戸市地域公共交通会議・八戸市地域公共交通活性化協議会HP)



事例：行先表示の路線のナンバリング及びカラー化、経由地のランドマーク表示  
(第1回バス系統ナンバリング検討会  
京都市交通局資料)

## ■ 3 市民等の利便性向上と利用促進

<考えられるメニューのイメージ> 今後、意見交換等をふまえながら、取舍選択・調整を行っていきます。

### ■ 取り組み 3 - 2 地区拠点等のアクセス・乗り継ぎ等 の利便性向上の取り組み

- 既存駅前広場へのバス乗り入れと、新規路線の検討
- アクセス充実のための拠点の整備と、新規路線の検討（長期）



鉄道駅から離れた道路上で発着するバス路線  
(原木中山駅)



バス路線が乗り入れない  
駅前広場 (原木中山駅)



駅前広場が整備されていない地区拠点  
(高根木戸駅)



## ■ 3 市民等の利便性向上と利用促進

<考えられるメニューのイメージ> 今後、意見交換等をふまえながら、取捨選択・調整を行っていきます。

### ■ 取り組み 3 - 3 遅延・運休等による公共交通利用への抵抗感軽減の取り組み

- バス待ち環境・運行情報の充実。
- 店舗や集客施設内での運行情報の提供
- 運休・大幅遅延時に関する運行事業者間での連携等



屋根が整備されたバス停：船橋駅南口



使用されていないバスロケ：市役所



事例：既存のバス運行アプリ  
(両備システムズ)



事例：コンビニと連携したバス待ち環境（京都）

## ■ 3 市民等の利便性向上と利用促進

<考えられるメニューのイメージ> 今後、意見交換等をふまえながら、取捨選択・調整を行っていきます。

### ■ 取り組み 3 - 4 クルマ依存の見直し・公共交通利用に関する意識の醸成に向けた取り組み

- モビリティ・マネジメントの継続的な取り組み。
- 地域が主体になって公共交通を考える機会の提供。

【事例】乗り方教室（東海バス）



出向-東海バス資料

（高齢者中心の公共交通についての相談会の例）



## ■ 今後の取り組みについて

### ■ 4 集客、回遊性向上など、まちづくりへの寄与

- 取り組み 4 - 1 まちの回遊性を促す公共交通サービス提供の取り組み
- 取り組み 4 - 2 人の往来・賑わい、来訪客へのPR案内の充実等の取り組み
- 取り組み 4 - 3 利用客・市民・来訪客等の意見・動向の定期的な把握の取り組み



51

## ■ 4 集客、回遊性向上など、まちづくりへの寄与

<考えられるメニューのイメージ> 今後、意見交換等をふまえながら、取捨選択・調整を行っていきます。

### ■ 取り組み 4 - 1 まちの回遊性を促す 公共交通サービス提供の取り組み

- 公共交通での外出、回遊の促進を図る料金割引・きっぷ等
- 店舗・集客施設等へのバス等の乗り入れ
- 店舗・集客施設と公共交通がコラボした割引・特典サービスの企画（MaaS等）
- タクシーの等の多様なニーズへの対応
- 集客拠点の新たな回遊手段の検討・実証運行（中期）
- 新駅の誘致と、それともなうバス路線の検討（中期）

#### ワンコイン（100円）運賃

JR総武線でワンコイン（100円）運賃実施中！

JR総武線の市川駅、本八幡駅、西船橋駅、津田沼駅、每張本郷駅、新検見川駅、稲毛駅、千葉駅、京成幕張駅、海浜幕張駅を起点とする約1km圏内で100円（ワンコイン）運賃を実施しています。  
※、この100円運賃は現金でお支払いの場合のみ適用となります。  
（千歳駅のみ利用可）

事例：実施中のワンコイン（100円）運賃  
（京成バスHP）



事例：MaaSアプリを活用した割引・特典（小田急電鉄HP）

52

## ■ 4 集客、回遊性向上など、まちづくりへの寄与

<考えられるメニューのイメージ> 今後、意見交換等をふまえながら、取捨選択・調整を行っていきます。

### ■ 取り組み 4 - 2 人の往来・賑わい、来訪客への PR・案内の充実等の取り組み

- 主要ターミナル等における総合案内。
- ターゲットを絞った公共交通マップの作成。
- 駅周辺の歩行者・自転車利用空間の充実（長期）。
- 主要駅の待ち合わせスペースの充実（長期）。



駅から離れたか箇所にある観光案内所  
：船橋駅周辺



事例：異なるバス事業者の案内及び観光案内  
が一体となった総合案内所：広島バスセンター  
総合案内所  
(広島バスセンターHP)



事例：公共交通マップの例：西宮市  
(西宮市HP)

53

## ■ 4 集客、回遊性向上など、まちづくりへの寄与

<考えられるメニューのイメージ> 今後、意見交換等をふまえながら、取捨選択・調整を行っていきます。

### ■ 取り組み 4 - 3 利用客・市民・来訪客等の 意見・動向の定期的な把握の取り組み

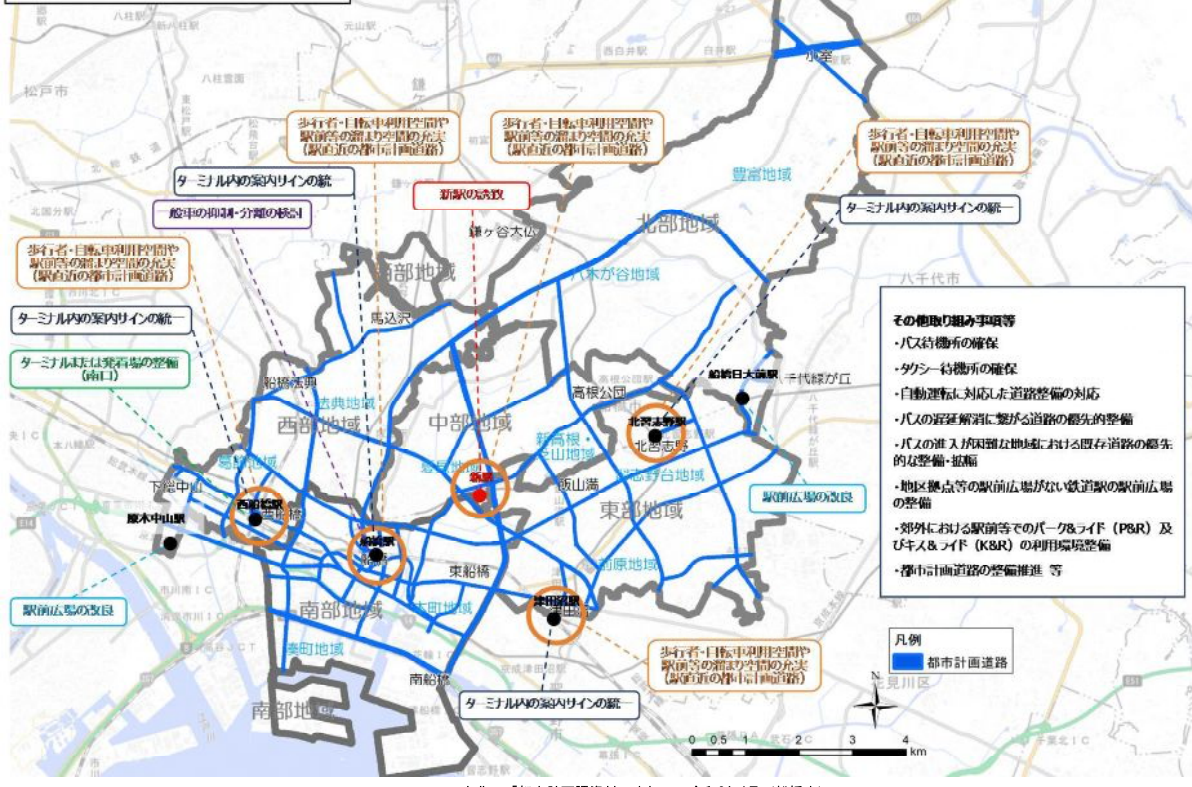
- 定期的な調査と観光・集客・商業関係者との情報交換等。



54

## ■ 取り組みに必要な整備

### 取り組みに必要な整備等



- その他取り組み事項等
- ・バス待機所の確保
  - ・タクシー待機所の確保
  - ・自動運転に対応した道路整備の対応
  - ・バスの遅延解消に繋がる道路の優先的整備
  - ・バスの進入が困難な地域における既存道路の優先的整備・拡幅
  - ・地区拠点等の駅前広場がない駅駅前広場の整備
  - ・郊外における駅前等でのパーク&ライド（P&R）及びキース&ライド（K&R）の利用環境整備
  - ・都市計画道路の整備推進 等

55

## ● 計画の進め方について

56



## ■ 計画の進め方

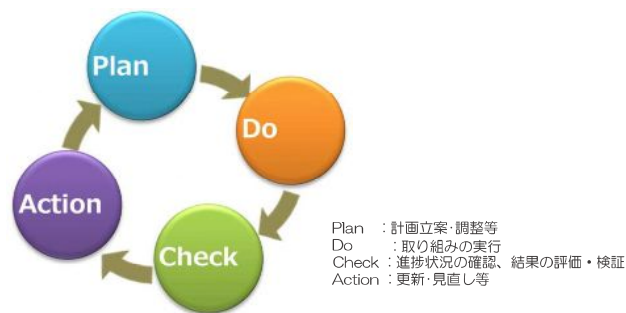
### ■ 計画の達成状況の評価について

今後、本市の公共交通が目指す姿を実現するため、計画期間中に達成すべき目標を設定し、取り組んでいきます。

#### 《達成状況の評価》

計画を進めるにあたっては、PDCA（Plan・Do・Check・Action）のサイクルによる継続的な取り組みを行い、必要に応じて適宜改善を図っていきます。

目指す目標を実現するための取り組みの詳細を計画立案・調整、実行し、各取り組み（事業）についての進捗状況の確認、得られた結果についての評価・検証を行います。得られた結果のほか今後の地域や社会の情勢、交通手段に関する技術革新の動向、人々の意識・行動や嗜好・流行の変化等によっては、計画内容の更新、見直し等を行うことも必要となります。

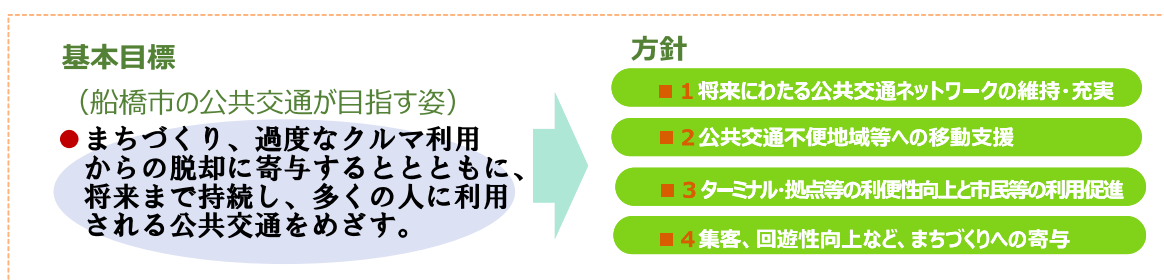


57

## ■ 計画の進め方

### 《目標の評価指標》

これからの船橋市の公共交通が目指す姿・基本方針を実現するため、期間中に達成すべき目標と評価指標を以下のように設定します。



上記の4つの方針（目標）に対応し、実現状況をあらわす指標を選定します。

58

## ■ 計画の進め方

### 《現時点で考えられる評価指標》（候補案）

以下は候補案であり、これらの中から絞り込み・選定等を行います。

#### ■ 1 将来にわたる公共交通ネットワークの維持・充実

目安 ■ 基幹軸（広域移動・市内地域間移動）の維持・確保・充実が図られ、  
中心拠点の利用客が持続している

- ・候補①：中心商業地・拠点商業地の鉄道駅乗車客数 ⇒現状以上（仮）
- ・候補②：中心商業地・拠点商業地の駅にアクセスするバス路線（サンプル）の利用客数 ⇒現状以上（仮）

目安 ■ 地域内アクセス手段の維持・確保・充実が図られ、地区の利用客が持続している

- ・候補③：地区拠点の鉄道駅乗車客数 ⇒現状以上（仮）
- ・候補④：市内のタクシーの利用実績（指標検討） ⇒現状以上（仮）

目安 ■ 運行事業者の運営が現在より良好になっている

- ・候補⑤：バス事業者計の年間利用客数・年間収入・乗車密度等（指標検討） ⇒現状以上（仮）
- ・候補⑥：バス事業者計の従業員数など（指標検討） ⇒現状以上（仮）
- ・候補⑦：異なる公共交通事業者による意見交換会開催数 ⇒年間1回以上（仮）

#### ■ 2 公共交通不便地域等への移動支援

目安 ■ 公共交通不便地区が削減されている

- ・候補⑧：公共交通不便地区（重点地区）への移動支援取組み地区数 ⇒新規3件以上（仮）

59

## ■ 計画の進め方

#### ■ 3 ターミナル・拠点等の利便性向上と市民等の利用促進

目安 ■ 市民の満足が得られている

- ・候補⑨：公共交通に対する満足度（アンケート結果） ⇒現状以上（仮）

目安 ■ 市民のクルマ利用が減り、公共交通の利用が増えている

- ・候補⑩：クルマ利用率の低減（国勢調査またはアンケート結果等） ⇒現状未満（仮）
- ・候補⑪：一定頻度以上バスに乗る市民の割合（アンケート結果） ⇒現状以上（仮）
- ・候補⑫：連携によるモビリティ・マネジメントの取り組み数 ⇒年間1件以上
- ・候補⑬：（再掲：前期候補①②と同様）

#### ■ 4 集客、回遊性向上など、まちづくりへの寄与

目安 ■ クルマで来訪する人が減り、公共交通で来訪する人が増えている

- ・候補⑭：本市への来訪客のクルマ利用率の低減（観光関連調査） ⇒現状未満（仮）
- ・候補⑮：大規模店・観光施設の最寄りバス路線（サンプル）の利用客数 ⇒現状以上（仮）

目安 ■ 歩く＋公共交通利用の外出が増え、まちなかの賑わいが向上している

- ・候補⑯：中心拠点駅近傍の歩行者通行量（指標検討） ⇒現状以上（仮）
- ・候補⑰：観光施設・大型店等の駐車場利用台数と来場客数との比等（指標検討） ⇒現状未満（仮）
- ・候補⑱：（再掲：前期候補①②と同様）
- ・候補⑲：公共交通事業者と集客関係者のコラボによる企画 ⇒新規1件以上（仮）

\* 指標は、可能なかぎり、そのための特別な調査を行うことなく、定例・定期的な調査やデータで得られることが望ましいものと考えられます。（上記は候補案であり、これら等の中から絞り込み・選定等を行います）

具体的な指標は、新型コロナ禍の状況も見ながら、調整等を行います。

60

## ● 計画策定に向けて

61

### ■ 計画策定に向けて

#### 計画策定に向けた次年度の取り組み事項

##### (1) 計画書素案（記述内容の調整等）の整理

- ・現在、計画書案を作成しております。来年度は、当会議や、公共交通事業者、関係者と調整しながら、内容を精査していきます。  
特に、取り組み内容のブラッシュアップや、目標・指標の取捨選択等を行います。

##### (2) パブリックコメントの支援

- ・計画書素案をもとにしたパブリックコメントの支援を行います。

##### (3) 計画書（原稿案）の作成

- ・パブリックコメントの結果を踏まえ、計画書の原稿案を作成します。

##### (4) 今後の取り組みに向けた公共交通事業者・関係者等との調整等

- ・これまでと同様、継続的に、公共交通事業者・関係者等とのミーティングで、意見交換や調整等を行わせて頂きます。計画策定後の進め方等についても、調整させていただきます。

##### (5) 今後の取り組みに向けた地区住民との調整等

- ・地区が関連する取り組みについては、地区住民の意向や今後の進め方等について、意見交換や調整等を行わせて頂きます。

62



ありがとうございました。  
今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。